



南館1F 女性用トイレ

## 姫路文学館 / 改修

姫路を中心とした播磨ゆかりの文人たちを顕彰し、あらゆる文学活動の拠点となる文学館

姫路城の北西に位置し、安藤忠雄氏の設計によるデザインが古い町並みに新しい風景を添える博物館。2016年7月にリニューアルした。トイレ内部は館内の雰囲気と損なわないスタイリッシュな印象。南館1Fのトイレは変則的な空間にできる限り広く開口部を設け、自然光を十分に取り入れている。

### DATA

施主 : 姫路市  
 設計 : 株式会社村上建築設計室  
 所在地 : 兵庫県姫路市山野井町84  
 竣工(改修) : 2016年6月

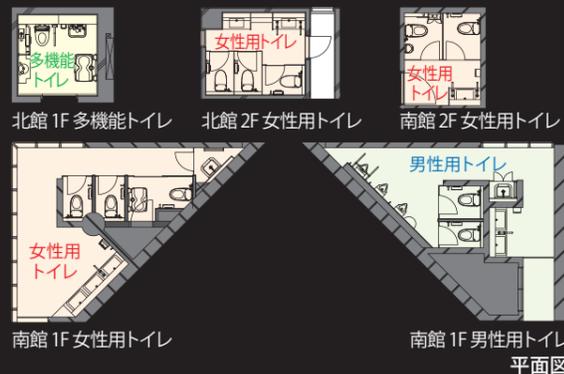
### 商品情報

<一般トイレ>  
 大便器 : サティスGタイプ (便器部) GBC-G10S (機能部) DV-G116-R2  
 小便器 : U-A51AP  
 洗面カウンター : Nosel counter L-S53WS1

<多機能トイレ>  
 多目的洋風大便器ユニット コンパクトタイプ  
 多目的フラットカウンターユニット コンパクトタイプ  
 多目的汚物流しユニット コンパクトタイプ  
 ベビーシート : KFA-23



外観全景



掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

外観



北館

世界文化遺産・国宝姫路城に近接し、建築家・安藤忠雄氏により城を周回する空間、文学と対話する空間として設計されている。

北館2F 多機能トイレ



車椅子が360度回転動作を行えるスペースを確保した、オストメイト対応の多機能トイレ。子ども連れの来館者にも配慮し、ベビーシートも設置している。

北館2F 女性用トイレ



大便器はシンプルデザインのタンクレスタイプを採用。リモコンは横長スリム形状。

北館3F 男性用トイレ



シンプル形状・壁掛式で清掃性に優れた小便器。手荷物に配慮しフックも設置。

北館3F 女性用トイレ



床から天井までの大きな開口部から自然の採光を取り入れた明るく快適な空間。洗面カウンターの1箇所には手すりを設置し、様々な利用者に配慮している。

南館1F 男性用トイレ



大きな窓が開放的な雰囲気を演出するトイレ空間。三角形の敷地形状を有効に機器レイアウトしている。小便器エリアには手荷物を置ける荷物台も設けている。

南館1F 女性用トイレ



シンプルで器具が主張しない、ドライエリアを備えた洗面カウンター。

南館2F 女性用トイレ



大便器ブースの中に手洗器を備えた個室完結型のトイレを設置。